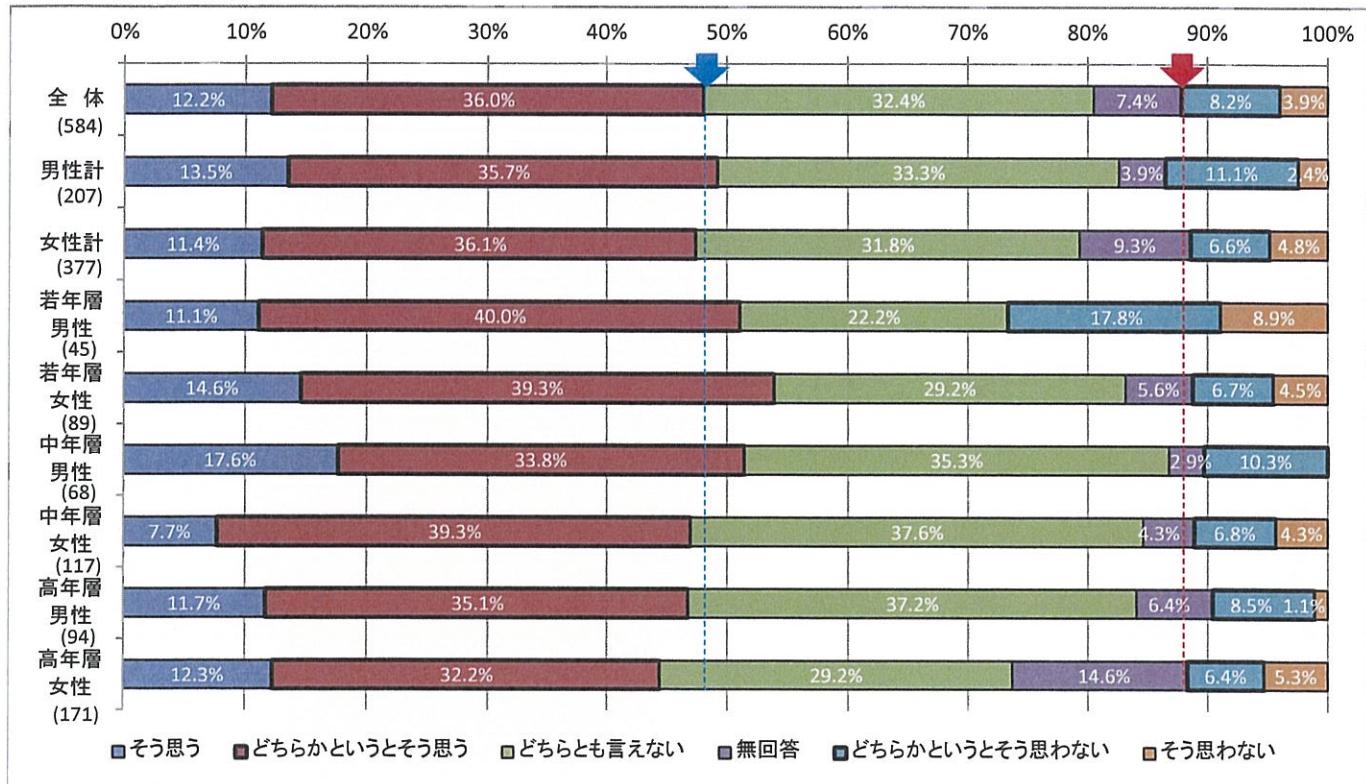


## 23 建築物

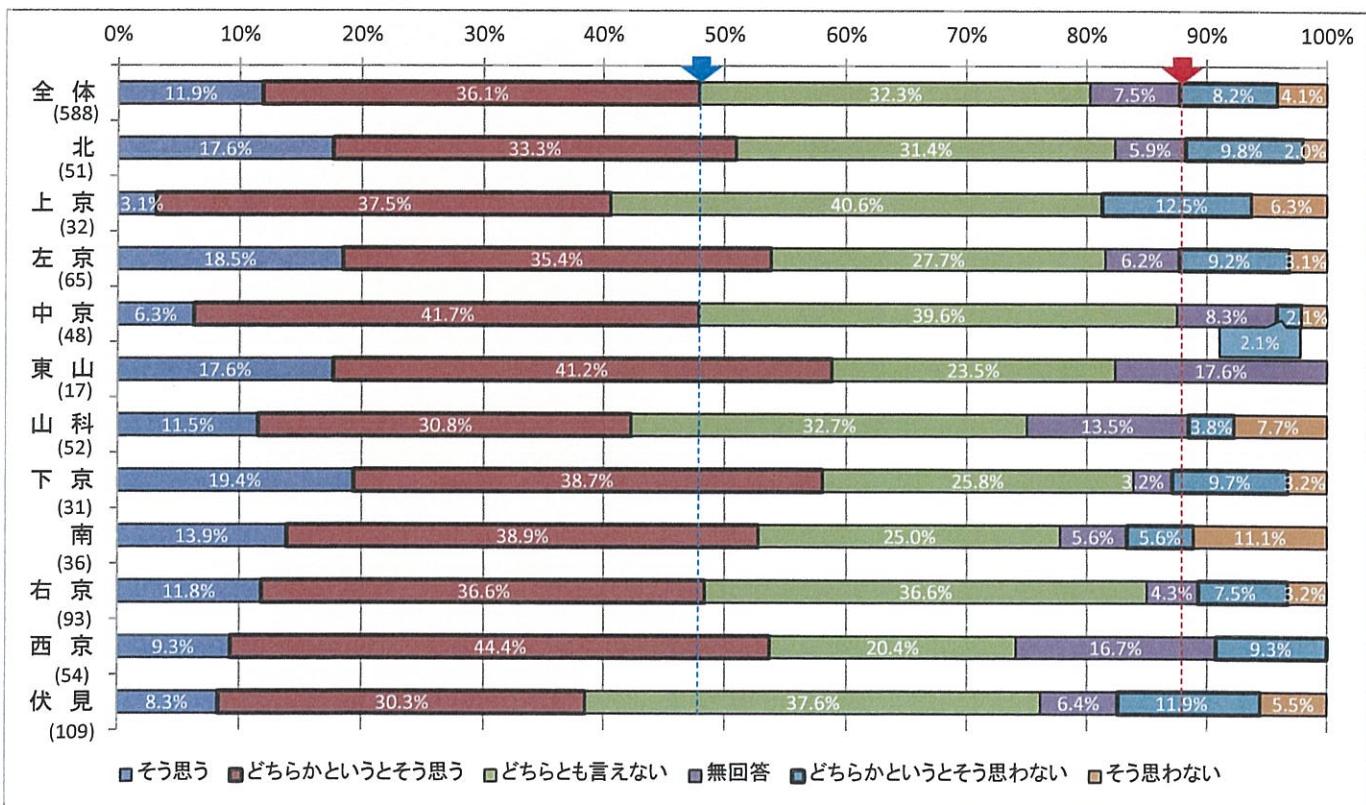
- 108 建物を新築するときは、建築ルールが守られている。
- 109 バリアフリー化された建物が増えている。
- 110 地震や火災に強い建物が増えている。
- 111 身近な地域にある細い道は、地震や火災などの災害時に被害が大きくならぬよう改善されている。

## 108 建物を新築するときは、建築ルールが守られている。

### (1) 世代別・性別分析



### (2) 居住区別分析

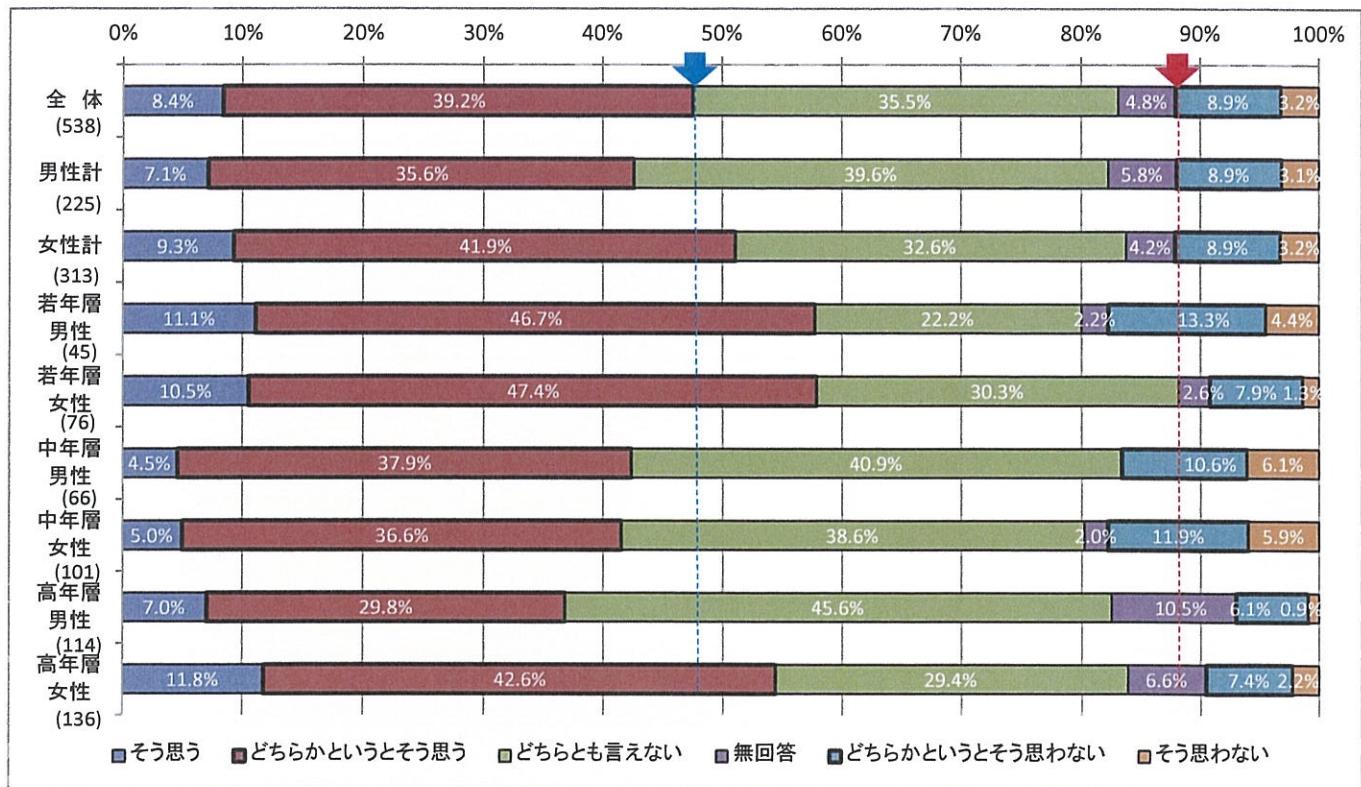


### (3) コメント

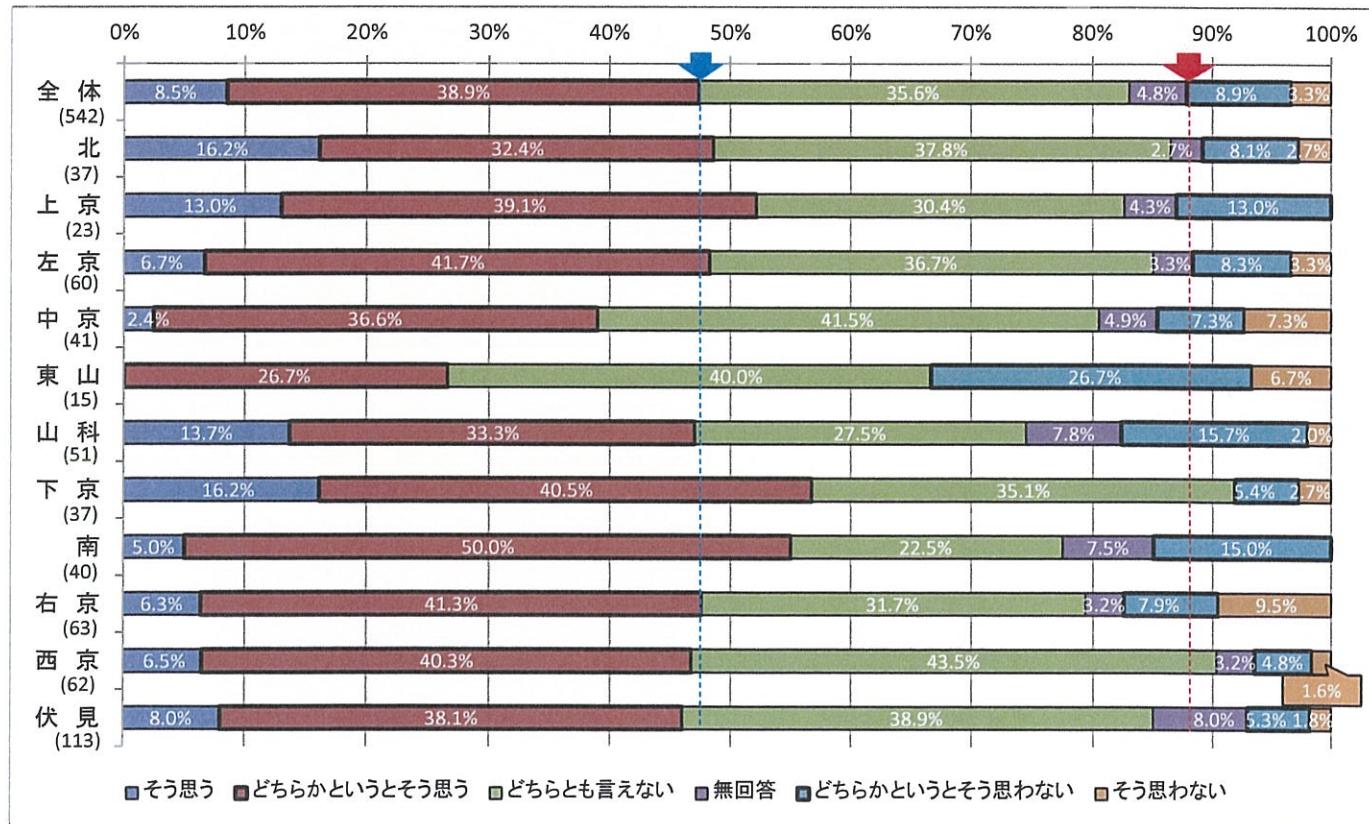
全体的には、肯定的な回答の割合が最も高かった。また、男性と女性との比較では、大きな差は見られなかった。  
世代別・性別を相対的にみると、肯定的な回答の割合は、若年層女性において高かった。一方、否定的な回答の割合は、若年層男性において高かった。  
居住区別を相対的にみると、肯定的な回答の割合は、東山区、下京区、左京区及び西京区において高かった。一方、否定的な回答の割合は、上京区及び伏見区において高かった。

## 109 バリアフリー化された建物が増えている。

### (1) 世代別・性別分析



### (2) 居住区別分析

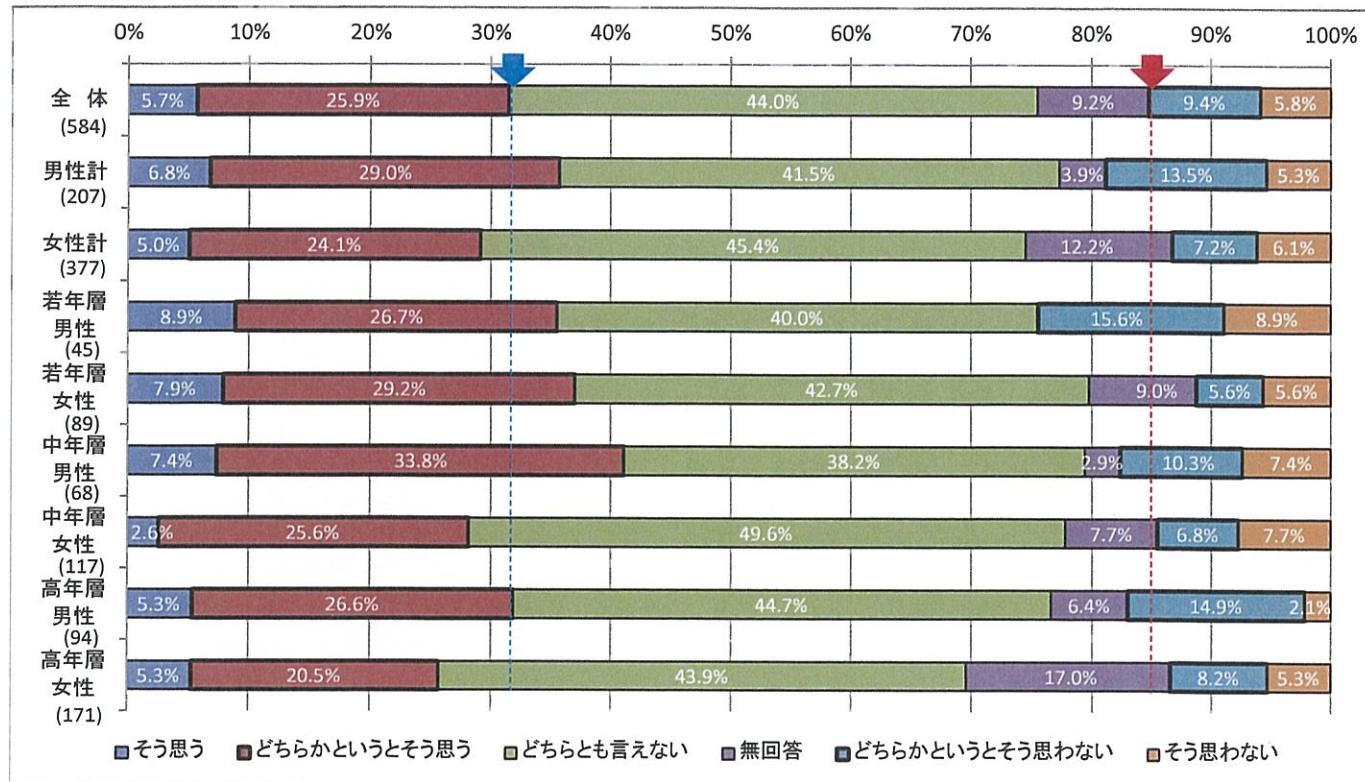


### (3) コメント

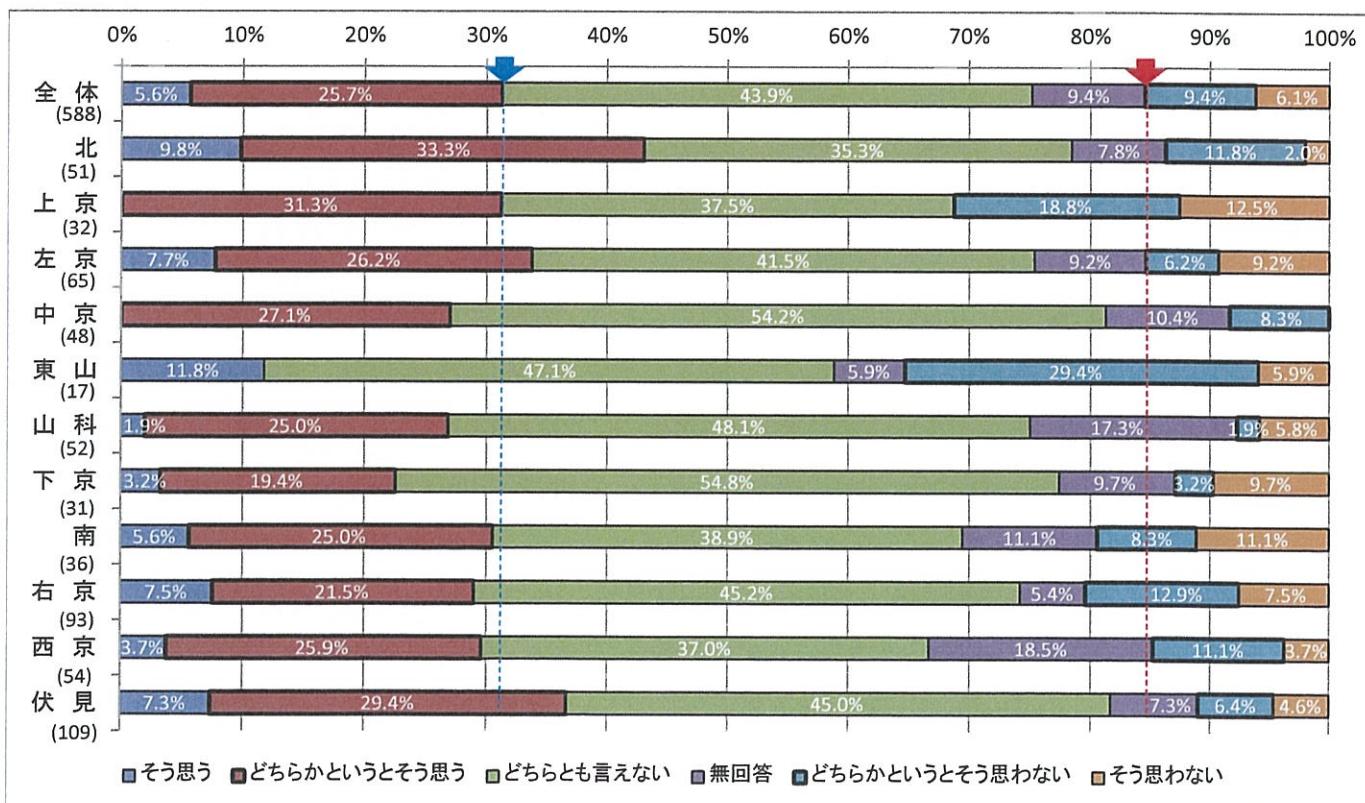
全体的には、肯定的な回答の割合が最も高かった。また、男性と女性との比較では、女性の方が肯定的な回答の割合が高かった。  
世代別・性別を相対的にみると、肯定的な回答の割合は、若年層女性、若年層男性及び高年層女性において高かった。一方、否定的な回答の割合は、若年層男性及び中年層女性において高かった。  
居住区別を相対的にみると、肯定的な回答の割合は、下京及び南区において高かった。一方、否定的な回答の割合は、東山区、山科区及び右京区において高かった。

## 110 地震や火災に強い建物が増えている。

### (1) 世代別・性別分析



### (2) 居住区別分析

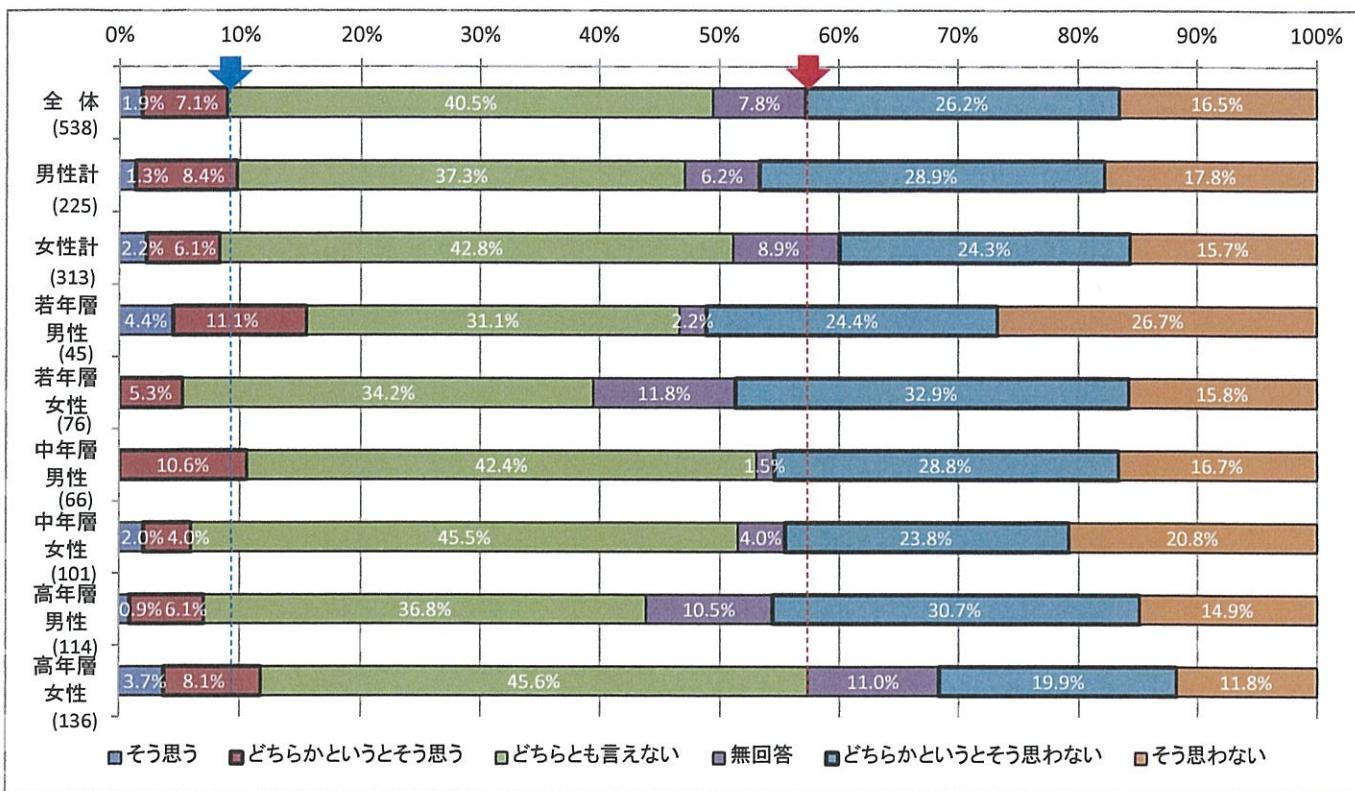


### (3) コメント

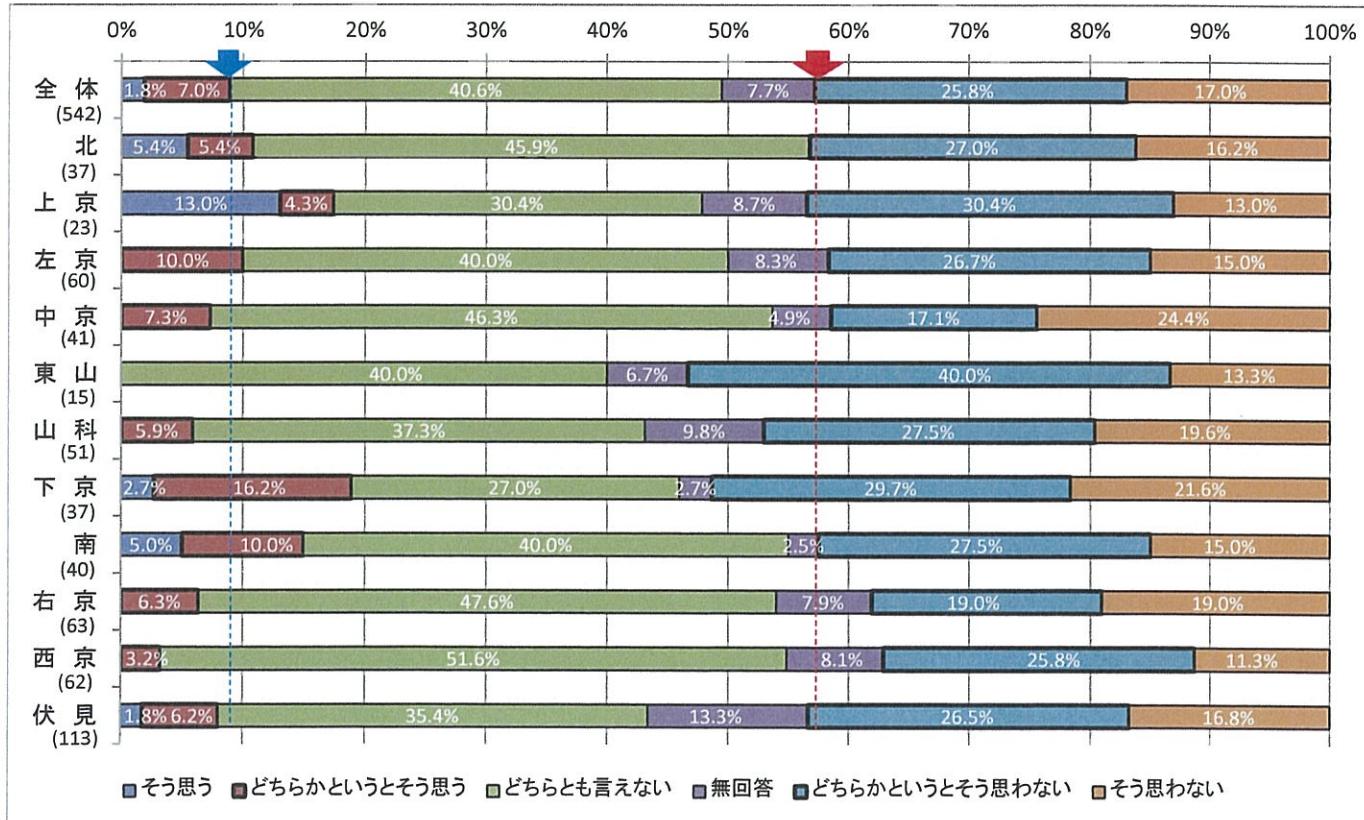
全体的には、どちらとも言えない回答の割合が最も高かった。また、男性と女性との比較では、肯定的な回答の割合及び否定的な回答の割合とも男性の方が高かった。  
 世代別・性別を相対的にみると、肯定的な回答の割合は、中年層男性及び若年層女性において高かった。一方、否定的な回答の割合は、若年層男性において高かった。  
 居住区別を相対的にみると、肯定的な回答の割合は、北区及び伏見区において高かった。一方、否定的な回答の割合は、東山区及び上京区において高かった。

111 身近な地域にある細い道は、地震や火災などの災害時に被害が大きくならないよう改善されている。

### (1) 世代別・性別分析



### (2) 居住区別分析



### (3) コメント

全体的には、否定的な回答の割合が最も高く、その数値は40%を超えた。また、男性と女性との比較では、男性の方が否定的な回答の割合が高かった。

世代別・性別を相対的にみると、肯定的な回答の割合は、若年層男性において高かった。一方、否定的な回答の割合は、若年層男性及び若年層女性において高く、中でも若年層男性の数値は50%を超えた。

居住区別を相対的にみると、肯定的な回答の割合は、下京、上京区及び南区において高かった。一方、否定的な回答の割合は、東山区及び下京区において高く、その数値は50%を超えた。

